

# 地元越谷の若きリーダーたち

## 越谷青年会議所のまちづくり

地域をもっと楽しく、暮らしやすく地域課題の解決やまちづくりに取り組む越谷青年会議所。越谷の未来を担う若きリーダーの皆さんに、地元越谷への思いを聞きました。



### まちへの思いを 途切れさせない

(一社)越谷青年会議所  
理事長 小林 仁 さん

#### Interview

私たちは「まちづくりの担い手」として地域のために何ができるかを考え、さまざまな活動に取り組んでいます。これまでの活動の中で特に印象に残っているのが、郷土愛醸成プロジェクトとして主催した「ぶらり越谷魅力探検隊」です。このプロジェクトでは、市内の子どもたちが地域の大人たちに取材を行い、越谷のいろいろな魅力を知りながら、実際にまちを巡りました。さらに、その内容を冊子としてまとめ、多くの方に地域の良さを伝えました。子どもたちにとって、自分の住むまちの魅力に気づくきっかけになったと思います。参加した皆さんも、大人になって一度越谷を離れることがある

かもしれません。でも、こうした思い出があれば、戻ってきたときに「やっぱり越谷っていいまちだな」と感じてくれるはずです。

私も越谷を離れていた時期がありました。だからこそ、戻ってきたときに地域を大切に思う人が本当に多い、温かいまちなんだと改めて感じました。世代や立場を超えて、多くの方がまちづくりに関わっていることが大きな魅力だと思っています。青年会議所の活動で他の地域を訪れる機会も多ありますが、これほど地域に関わる人が多いまちは、決して多くありません。「まちへの思いを途切れさせない」、そんな気持ちを大切にしています。

#### Interview

これまで多くのまちづくりに関わってきましたが、特に思い入れがあるのは越谷市をブランディングするプロジェクトです。私たちが住み、事業活動をしている越谷市の魅力を若い世代に向けてどのように発信していくか仲間と検討し、当時ちょうど流行しだしたVtuberを活用した案に行き着きました。当時は、市内の小学校に地域の魅力をインタビューしたり、キャラクターの名称を公募したり、声の担当者をオーディションしたりと新鮮な気持ちでチャレンジできて楽しかったですよ。

現在、越谷レイクタウンで開催する

「KOSHIGAYA LakeSide Festival」の開催に向けてイベントの実行委員長として準備を進めています。越谷市の魅力である越谷レイクタウンの水辺に、地元のグルメが集まる「越谷うまいもんフェス」を開催するほか、音楽フェスやスポーツ、さらには動物とのふれあいなど、子どもから高齢者まで、みなさんで楽しんでもらえればと思います。

未来のまちをつくっていく若い世代に「越谷市の誇れるもの」を、何か一つでも残していけたらいいですね。越谷に住んでいる人や、越谷というまちのチカラになりたいと思っています。

### まちづくりを 楽しむ



第56回埼玉ブロック大会  
越谷大会実行委員長 野口 峻平 さん

## 続けていくまちづくり

越谷青年会議所出身で、現在もまちづくりをしている方々へ、思い出や現在の思いを聞きました。



(株)セカンドキャリア  
代表取締役 高橋 志保 さん

### 大人の青春で 充実した毎日

子育てや仕事など忙しい中で時間の使い方が上手になりました。

わんぱく相撲で優勝したこどもを全国大会に連れていったことがいい思い出です。そのときのこどもが実は菊琉峰なんです。

当時青年会議所には女性が少なかったんですが、今はたくさんいて頼もしいと感じます。女性が地域で活躍できる場がもっと広がるといいですね。

### まちづくりが 人と人をつなぐ

実行委員長を務めた越谷市民まつりでは、こどもも大人も楽しめることを常に考えていました。市内の経済団体をはじめとした、あらゆる分野の多くの団体と一緒にすることで人とつながりの大切さを学びました。

越谷香取神社では、「神社deままマルシェ」が毎月開催され子育て世代でにぎわっています。地域のつながりって大切だと感じています。



香取神社  
禰宜 小林 充 さん